

独立行政法人化後のJICA事業の位置づけ

政策（政府）

◎ 国の開発援助政策
政府開発援助大綱
政府開発援助に関する中期政策
国別援助計画 等



◎ 案件選定
◎ 国際約束の締結



JICA事業

実施（JICA）

◎ その他

◎ 災害援助等協力

◎ 海外移住

◎ 国民等の協力活動
○ 青年海外協力隊
○ シニア海外ボランティア
○ 草の根技術協力
(NGO等の提案に基づく協力) 等

◎ 無償資金協力の実施促進

◎ 技術協力
○ 専門家派遣
○ 研修員受入
○ 機材供与
○ 調査団派遣 等



事業実施の実績に基づくフィードバック

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) の 中期目標・中期計画 (案) のポイント

(中期目標期間：2003年10月～2007年3月)

中期目標

● 効率化

- ・ 機動的な組織運営
- ・ 業務運営全体の効率化

業務の質の維持・向上を図りつつ、各種事業の実施に必要な主要な投入（専門家派遣、研修員受入、機材供与、調査団派遣等）に係る単位当たり経費について効率化に努める。

☞ 中期目標期間中 10%程度の効率化

● サービス・業務の質の向上

案件の效果的・効率的実施

- ・ 質の高い技術協力専門家等の選定
- ・ 青年海外協力隊等の人材確保
- ・ 幅広い国民の参加による協力の実施
- ・ 開発教育支援の充実
- ・ 国際協力人材の養成

● その他

人員の適正配置

評価の充実

- ・ 事前から事後までの評価
- ・ 外部評価の実施
- ・ 評価内容の情報提供
- ・ 評価内容の事業実施へのフィードバック

中期計画

● 効率化

- ・ 在外事務所への権限委譲
- ・ 専門家の長期派遣人数等の合理化
- ・ 研修実施時期の調整による滞在経費の見直し
- ・ 機材調達経費の削減
- ・ 調査団員数の合理化や調査方法の改善
- ・ コンサルタント契約方法の改善
- ・ 通信費、事務経費、印刷製本費等の節減

● サービス・業務の質の向上

案件の效果的・効率的実施のための具体策

- ・ 透明かつ適正な選定手続きの実施
- ・ 幅広い公募の実施
- ・ 国民にわかりやすい情報提供
- ・ プログラムの充実
- ・ 人材育成研修の充実

● その他

職員の能力開発と適材適所の人事配置

評価の充実の具体策

- ・ 事前から事後までの一貫した評価の実施
- ・ 外部有識者・機関等による評価の充実
- ・ 評価内容の迅速な公開
- ・ 評価内容の事業実施へのフィードバックの強化